

作成日 2013年9月1日

改訂日 2019年4月1日

安全データシート (混合物用)

1. 製品および会社情報

製品名	SSSボンド#500主剤 通年用		
会社名	ヤブ原産業株式会社		
住所	〒334-0054 埼玉県川口市安行北谷 546		
担当部署	販売営業部		
作成者	技術部		
電話番号	048-297-4111	FAX番号	048-290-1198
緊急連絡先	048-297-4111		
製品の種類	建築補修用注入エポキシ樹脂主剤		
推奨用途及び使用上の制限	モルタル浮きの注入補修		
整理番号	120012R		

2. 危険有害性の要約

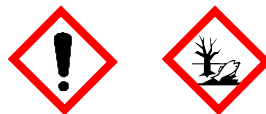
GHS分類

健康に対する有害性	急性毒性 経口 経皮 吸入：ガス ：蒸気 ：粉塵、ミスト	区分外 区分外 分類対象外 分類できない 分類できない
	皮膚腐食性/刺激性	区分2
	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分2
	呼吸器感受性	分類できない
	皮膚感受性	区分1
	生殖細胞変異原性	分類できない
	発がん性	分類できない
	生殖毒性	分類できない
	授乳に対する、または授乳を介した 影響に関する追加区分	分類できない
	特定標的臓器/全身毒性 (単回ばく露)	分類できない
	特定標的臓器/全身毒性 (反復ばく露)	分類できない
	吸引性呼吸器有害性	分類できない
環境に対する有害性	水生環境有害性 (急性)	区分2
	水生環境有害性 (慢性)	区分2
	オゾン層有害性	分類できない

※上記以外は区分外、分類対象外か分類できない

ラベル要素

絵表示またはシンボル



注意喚起語
危険有害性情報

警告
皮膚刺激
強い眼刺激
アレルギー性皮膚反応を引き起こすおそれ
水生生物に毒性

注意書き

長期継続的影響により水性生物に毒性

【安全対策】

適切な保護手袋／保護眼鏡／保護マスク／保護面／保護衣を着用すること。

粉じん／ミスト／蒸気／スプレーの吸入を避けること。

汚染された作業衣は作業場から出さないこと。

取扱い後は、手や顔をよく洗い、うがいをすること。

環境への放出を避けること。

【応急措置】

皮膚に付着した場合：多量の水と石鹼で洗うこと。

皮膚刺激または発疹が生じた場合は、医師の診断/手当てを受けること。

汚染された衣類を再使用する場合には洗濯すること。

眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

眼の刺激が続く場合は、医師の診断/手当てを受けること。

漏出物は回収すること。

【保管】

容器を密閉して、涼しく換気の良いところで施錠して保管すること。

【廃棄】

内容物や容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に廃棄を委託する。

3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区分：混合物

物質の特定 成分および含有量

物質名	化審法番号	CAS 番号	含有量 (%)	備考
ビスフェノールA型エポキシ樹脂 (液状)	(7)-1279, 1283	25068-38-6	80～90	
エポキシ樹脂希釈剤	非公開	非公開	10～20	

4. 応急措置

吸入した場合：蒸気、ガス等を吸い込んで、気分が悪くなった場合には、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪い時は、医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合：付着物を布にて素早く拭き取る。
直ちに、汚染された衣類をとりのぞくこと。
大量の水および石鹼または皮膚用の洗剤を使用して十分に洗い落とす。溶剤、シンナーは使用しないこと。
外観に変化が見られたり、刺激・痛みがある場合、気分が悪い時には医師の診断を受けること。

眼に入った場合：直ちに大量の清浄な流水で15分以上洗う。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。
直ちに医師に連絡すること。

飲み込んだ場合：口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。気分が悪い時は、医師に連絡すること。
応急措置をする者の保護：救助者は保護手袋や保護眼鏡などの保護具を着用し、衣類や手につかないように注意を払うこと。

5. 火災時の措置

消化剤：炭酸ガス、泡、粉末、乾燥砂、霧状の水

使ってはならない消化剤：水（棒状水、高圧水）

特有の消化方法 : 可燃性のものを周囲からすばやく取り除く。
指定の消化剤を使用すること。
高温にさらされる密封容器は水をかけて冷却する。
消火活動は風上より行う。

消化を行う者の保護 : 適切な保護具（耐熱性着衣など）を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、
保護具および緊急時措置 : 作業の際には適切な保護具(手袋、保護マスク、エプロン、ゴーグル等)を着用する。
周辺を立ち入り禁止にして、関係者以外を近づけないようにして二次災害を防止する。
付近の着火源・高温体および付近の可燃物をすばやく取り除く。
着火した場合に備えて、適切な消化器を準備する。

環境に対する注意事項
封じ込めおよび浄化の
方法・機材 : 河川への排出等により、環境への影響を起こさないように注意する。
漏出物は、密閉できる容器に回収し、安全な場所に移す。
付着物、廃棄物等は、関係法規にもとづいて処置すること。
衝撃、静電気にて火花が発生しないような材質の用具を用いて回収する。
乾燥砂、土、その他の不燃性のものに吸収させて回収する。大量の流出には盛土で囲って流出を防止する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策 : 換気の良い場所で取り扱う。
容器はその都度密栓する。
周辺で火気、スパーク、高温物の使用を禁止する。
作業中は、帯電防止型の作業服、靴を使用する。
工具は火花防止方のもを使用する。
密閉された場所における作業には、十分な局所排気装置を付け、適切な保護具を着けて作業すること。
皮膚、粘膜、又は着衣に触れたり、目に入らないよう保護具を着用する。
取り扱い後は手・顔等をよく洗い、休憩所等に手袋等の汚染保護具を持ち込まない。
過去に、アレルギー症状を経験している人は取り扱わない。

注意事項 : 静電気対策のため、装置は接地し、電気機器類は防爆型(安全増型)を使用する。

保管

技術的対策および
保管条件 : 日光の直射を避ける。
通風のよいところに保管する。
火気、熱源から遠ざけて保管する。
盗難防止のために施錠保管する。

8. 暴露防止及び保護措置

管理濃度、許容濃度 : 設定されていない。

設備対策 : 取扱い場所の近くには、高温、発火源となるものが置かれないような設備とすること。
屋内塗装作業の場合は、自動塗装機等を使用する等作業者が直接暴露されない設備とするか、局所排気装置等により作業者が暴露から避けられるような設備にすること。
タンク内部等の密閉場所で作業する場合には、密閉場所の底部まで十分に換気できる装置を取り付けること。

保護具

- 呼吸器用の保護具 : 有機ガス用防毒マスクを着用する。
密閉された場所では送気マスクを着用する。
- 手の保護具 : 有機溶剤または化学薬品が浸透しない材質の手袋を着用する。
- 目の保護具 : 取り扱いには保護メガネを着用すること。
- 皮膚及び身体の保護具 : 取り扱う場合には、皮膚を直接曝させないような衣類を着けること。また化学薬品が浸透しない材質であることが望ましい。

9. 物理的および化学的性質

- 状態 : 液体
- 色 : 淡黄色透明
- 臭い : わずかな臭気
- 引火点 : 192℃
- 比重 : 1.13 (25℃)
- 水に対する溶解性 : 不溶
- 溶媒に対する溶解性 : トルエン、キシレン等の有機溶剤によく溶ける
- n-オクタノール/水分配係数 : ビスフェノールA型エポキシ樹脂 (液状) 2.821

10. 安定性および反応性

- 安定性 : 常温・常圧で安定。
- 避けるべき条件 : 継続的な高温状態 (50℃以上)、低温状態 (5℃以下)。
- その他の危険性情報 : 重合開始触媒、強酸、強アルカリ、酸化剤、エポキシ樹脂硬化剤 (アミン類等)との混合により、激しく発熱反応することがある。

11. 有害性情報

- 急性毒性 経口 : ビスフェノールA型エポキシ樹脂 (LD₅₀ マウス : 15600mg/kg、ウサギ : 19800 mg/kg 区分外)
- 経皮 : ビスフェノールA型エポキシ樹脂 (LD₅₀ マウス : >1270mg/kg、ラット : >1200mg/kg、ウサギ : >23000mg/kg 区分外)
- 吸入 (蒸気) : 分類できない
- 吸入 (粉塵、ミスト) : 分類できない
- 皮膚腐食性・刺激性 : ビスフェノールA型エポキシ樹脂 (区分2)、エポキシ樹脂希釈剤 (区分2)
- 眼に対する重篤な損傷・刺激性 : ビスフェノールA型エポキシ樹脂 (区分2A) エポキシ樹脂希釈剤 (区分2B)
- 呼吸器感作性 : 分類できない
- 皮膚感作性 : ビスフェノールA型エポキシ樹脂 (区分1) エポキシ樹脂希釈剤 (区分1)
- 生殖細胞変異原性 : 分類できない
- 発がん性 : 分類できない
- 生殖毒性 : 分類できない
- 特定標的臓器・全身毒性-単回暴露 : 分類できない
- 特定標的臓器・全身毒性-反復暴露 : 分類できない
- 吸引性呼吸器有毒性 : 分類できない

12. 環境影響情報

- 生態毒性 : ビスフェノールA型エポキシ樹脂 (EC₅₀ (48H) 甲殻類 : 1.7mg/l、LC50 (96H) 魚類 : >1000 mg/l)
- 残留性・分解性 : 情報なし
- 生態蓄積性 : 情報なし

土壌中の移動性 : 情報なし
水生環境有害性 (急性) : ビスフェノールA型エポキシ樹脂 (区分2)
(慢性) : ビスフェノールA型エポキシ樹脂 (区分2)

オゾン層への有害性 : 分類できない

- ・漏洩、廃棄などの際には、環境に影響を与える恐れがあるので、取扱いに注意する。
- ・特に、製品や洗浄水が、地面、川や排水溝に直接流れないように対処すること。

1 3. 廃棄上の注意

残余廃棄物 : 廃棄においては、関係法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。

廃塗料、容器等の廃棄物は、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約 (マニフェスト) をして処理をする。

容器、機器等を洗浄した排水等は、地面や排水溝へそのまま流さないこと。

排水処理、焼却等により発生した廃棄物についても、廃棄物の処理および清掃に関する法律および関係する法規にしたがって処理を行うか、委託をすること。

廃塗料などを焼却処理する場合には、珪藻土などに吸着させて開放型の焼却炉で少量ずつ焼却する。または焼却炉の火室へ噴霧し焼却する。ただし、ダイオキシンなどの有害ガスが発生する恐れがある場合には、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約を結び処理すること。

汚染容器および包装 : 空容器は内容物を完全に除去してから処分する。

許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理をする。

1 4. 輸送上の注意

共通

取り扱いおよび保管上の注意の項の記載に従うこと。

容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れ防止を確実にすること。

国内規定

陸上輸送 : 消防法、労働安全衛生法等に定められた運送方法に従うこと。

海上輸送 : 船舶安全法に定めるところに従うこと。

航空輸送 : 航空法に定めるところに従うこと。

国連番号 : 3082

品名 : 環境有害性物質 (液体)

国連分類 : 9

容器等級 : III

指針番号 : 171

国際規制

海上規制情報 : IMOの規定に従う。

航空規制情報 : ICAO/IATAの規定に従う。

UN No. : 3082

Proper shipping Name: ENVIRONMENTALLY HAZARDOUS SUBSTANCE, LIQUID, N.O.S

Class : 9

Packing Group : III

1 5. 適用法令

消防法 : 第4類第三石油類 (非水溶性液体) 危険等級III

労働安全衛生法 : 変異原性が認められた物質 (ビスフェノールA型エポキシ樹脂)
(労働基準局長通達 平成9年12月24日 基発第770号の2)

有機溶剤中毒予防規則 : 該当しない

労働基準法 : 感作性物質の指定 (ビスフェノールA型エポキシ樹脂)
(労働基準局長通達 平成8年3月29日 基発第188号)

船舶安全法 : 危告示 別表1 その他のもの

航空法 : 輸送許容物件 9. 有害性物質

海洋汚染防止法 : 未査定物質
輸出貿易管理令 : キャッチオール規制対象品

16. その他の情報

参考文献

- ・ GHS 対応 SDS ・ ラベル作成ガイドブック [混合物 (塗料用)] (日本塗料工業会)
- ・ SDS 用物質データベース (日本塗料工業会)
- ・ 国際化学物質安全カード (I C S C)
- ・ エポキシ技術協会「エポキシ樹脂、硬化剤関連化合物取り扱い参考データ集」
- ・ 垣内 編著「新エポキシ樹脂」

注意

本データシートは、作成または改訂時において、製品およびその組成に関する最新の情報（危険有害性情報・取扱い情報等）を集めて作成しておりますが、全ての情報を網羅したものではなく、新たな情報を入手した場合には追加・修正を行い改訂いたします。

また、本データシートに記載のデータは、その製品を代表する値であり、保証値ではありません。

本製品を当社が認めた材料以外のものとの混合、当社が認めた仕様以外の特種な条件で使用する場合には、使用者において安全性の確認を行ってください。

作成日 2013年9月 1日

改訂日 2019年4月 1日

安全データシート（混合物用）

1. 製品および会社情報

製品名	SSSボンド#500硬化剤 通年用		
会社名	ヤブ原産業株式会社		
住所	〒334-0054 埼玉県川口市安行北谷 546		
担当部署	販売営業部		
作成者	技術部		
電話番号	048-297-4111	FAX番号	048-290-1198
緊急連絡先	048-297-4111		
製品の種類	建築補修用注入エポキシ樹脂硬化剤		
推奨用途及び使用上の制限	モルタル浮きの注入補修		
整理番号	120012H		

2. 危険有害性の要約

GHS分類

健康に対する有害性	急性毒性 経口	分類できない
	経皮	分類できない
	吸入：ガス	分類できない
	：蒸気	分類できない
	：粉塵、ミスト	分類できない
	皮膚腐食性／刺激性	区分1
	眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	区分1
	呼吸器感受性	分類できない
	皮膚感受性	区分1
	生殖細胞変異原性	分類できない
	発がん性	分類できない
	生殖毒性	分類できない
	特定標的臓器／全身毒性（単回ばく露）	分類できない
特定標的臓器／全身毒性（反復ばく露）	分類できない	
吸引性呼吸器有害性	分類できない	
環境に対する有害性	水生環境有害性（急性）	区分2
	水生環境有害性（慢性）	区分2
	オゾン層有害性	分類できない

※上記以外は区分外、分類対象外か分類できない

ラベル要素

絵表示またはシンボル



注意喚起語

危険

危険有害性情報

重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷

重篤な眼の損傷

アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ

水生生物に毒性

長期継続的影響により水生生物に毒性

注意書き

【安全対策】

適切な保護手袋／保護眼鏡／保護マスク／保護面／保護衣を着用すること。
粉じん／ミスト／蒸気／スプレーの吸入を避けること。
汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
取扱い後は、手や顔をよく洗い、うがいをする事。
環境への放出を避けること。

【応急措置】

吸入した場合、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
皮膚（または髪）に付着した場合、直ちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと／取り除くこと。皮膚を流水／シャワーで洗うこと。
皮膚に付着した場合、多量の石鹼と水で洗うこと。
皮膚刺激または発疹が生じた場合は、医師の診断／手当てを受けること。
汚染された衣類を再使用する場合には洗濯すること。
眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
直ちに医師に連絡すること。
飲み込んだ場合、口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。
漏出物を回収すること。

【保管】

容器を密閉して、涼しく換気の良いところで施錠して保管すること。

【廃棄】

内容物や容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に廃棄を委託する。

3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区分 : 混合物

主成分 : ポリアミドアミン (CASNo. 68071-65-8)

物質の特定 成分および含有量

物質名	化審法番号	CAS 番号	含有量 (%)	備考
テトラエチレンペンタミン	(2)-162	112-57-2	10	分類に寄与する不純物及び安定化添加剤

4. 応急措置

吸入した場合 : 蒸気、ガス等を吸い込んで、気分が悪くなった場合には、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪い時は、医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合 : 直ちに、汚染された衣類を脱ぐこと／取り除くこと。皮膚を流水／シャワーで洗うこと。
多量の水と石鹼で洗うこと。
皮膚刺激または発疹が生じた場合は、医師の診断／手当てを受けること。
汚染された衣類を再使用する場合には洗濯すること。

眼に入った場合 : 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。直ちに医師に連絡すること。

飲み込んだ場合 : 口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。気分が悪い時は、医師に連絡すること。

応急措置をする者の保護 : 救助者は保護手袋や保護眼鏡などの保護具を着用し、衣類や手につかないように注意を払うこと。

5. 火災時の措置

- 消化剤 : 小火災 : 粉末、炭酸ガス、散水
大火災 : 粉末、炭酸ガス、耐アルコール性泡、散水
- 使ってはならない消化剤 : 情報なし
- 火災時の特定の危険有害性 : 火災によって刺激性、腐食性のまたは毒性のガスを発生するおそれがある。
- 特有の消化方法 : 危険でなければ、容器を火災区域から移動する。
可能な限り遠くから無人ホース保持具やモニター付ノズルを用いて消化する。
容器内に水を入れてはいけない。
消化後も大量の水を用いて十分に容器を冷却する。
消火活動は風上より行う。
- 消化を行う者の保護 : 適切な保護具（化学用保護衣、空気呼吸器など）を着用する。

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項、
保護具および緊急時措置 : 作業の際には適切な保護具(手袋、保護マスク、エプロン、ゴーグル等)を着用する。
周辺を立ち入り禁止にして、関係者以外を近づけないようにして二次災害を防止する。
屋内では換気をしっかり行う。
屋外の場合には、できるだけ風上から作業を行う。
付近の着火源・高温体および付近の可燃物をすばやく取り除く。
着火した場合に備えて、適切な消化器を準備する。
- 環境に対する注意事項
封じ込めおよび浄化の
方法・機材 : 河川への排出等により、環境への影響を起ささないように注意する。
危険でなければ漏れを止める。
漏出物は、密閉できる容器に回収し、安全な場所に移す。
付着物、廃棄物等は、関係法規にもとづいて処置すること。
衝撃、静電気にて火花が発生しないような材質の用具を用いて回収する。
乾燥砂、土、その他の不燃性のものに吸収させて回収する。大量の流出には盛土で囲って流出を防止する。
排水溝、下水溝、地下室あるいは狭い場所への流入を防ぐ。
容器内に水を入れてはいけない。

7. 取扱い及び保管上の注意

- 取扱い
- 技術的対策 : 換気の良い場所で取り扱う。容器はその都度密栓する。
周辺で火気、スパーク、高温物の使用を禁止する。
作業中は、帯電防止型の作業服、靴を使用する。
工具は火花防止方のものを使用する。
密閉された場所における作業には、十分な局所排気装置を付け、適切な保護具を着けて作業すること。
皮膚、粘膜、又は着衣に触れたり、目に入らないよう保護具を着用する。
取り扱い後は手・顔等をよく洗い、休憩所等に手袋等の汚染保護具を持ち込まない。
過去に、アレルギー症状を経験している人は取り扱わない。
環境への放出を避けること。
- 注意事項 : 静電気対策のため、装置は接地し、電気機器類は防爆型(安全増型)を使用する。
- 保管
- 技術的対策および
保管条件 : 日光の直射を避ける。容器を密閉して、通風のよいところに保管する。
火気、熱源から遠ざけて保管する。
酸化剤、酸から離して保管する
軟鋼、銅、アルミニウム、亜鉛には腐食性があるため、表面処理された鋼板あるいはステンレス容器に保管する。

8. 暴露防止及び保護措置

管理濃度	: 設定されていない。
許容濃度	
日本産衛学会	: 設定されていない
ACGIH	: 設定されていない。
設備対策	: 取り扱い設備は防爆型を使用する。 液体の輸送、汲み取り、攪拌などの装置についてはアースを取るように設備する。 取扱い場所の近くには、高温、発火源となるものが置かれられないような設備とすること。 屋内作業の場合は、作業者が直接暴露されない設備とするか、局所排気装置等により作業者が暴露から避けられるような設備にすること。 タンク内部等の密閉場所で作業する場合には、密閉場所の底部まで十分に換気できる装置を取り付けること。 取扱い場所の近くには洗眼器、シャワーを設置する。
保護具	
呼吸器用の保護具	: 有機ガス用防毒マスクを着用する。 密閉された場所では送気マスクを着用する。
手の保護具	: 有機溶剤または化学薬品が浸透しない材質の手袋を着用する。
目の保護具	: 取り扱いには保護メガネを着用すること。
皮膚及び身体の保護具	: 取り扱う場合には、皮膚を直接曝させないような衣類を着けること。また化学薬品が浸透しない材質であることが望ましい。

9. 物理的および化学的性質

状態	: 液体
色	: 褐色
臭い	: アミン臭
引火点	: 214℃
比重	: 0.95 (25℃)
溶解度	: 芳香族炭化水素系溶剤、アルコール系溶剤の混合溶剤に可溶
n-オクタノール／水分配係数	: データなし
粘度	: 200～500 mPa·s (25℃)
アミン価	: 435～465

10. 安定性および反応性

安定性	: 通常の条件下では安定であるが、長時間の空気との接触では変質する。
反応性	: アルカリ性物質であり、また分子内にアミノ基を有しており、炭酸ガス、酸性物質、エポキシ化合物およびイソシアネート化合物等と反応する。
避けるべき条件	: 過度の加熱、空気および水との接触。
混触危険物質	: 炭酸ガス、酸性物質、エポキシ化合物およびイソシアネート化合物等。
危険有害な分解性生成物	: アミン類、アンモニア、燃焼等によるCO、NOx

11. 有害性情報

急性毒性 経口	: テトラエチレンペンタミン (LD ₅₀ ラット : 2100-3990 mg/kg 分類できない)
経皮	: テトラエチレンペンタミン (LD ₅₀ ウサギ : 660, 1260 mg/kg 分類できない)
吸入 (蒸気)	: 分類できない
吸入 (ミスト)	: 分類できない
皮膚腐食性・刺激性	: テトラエチレンペンタミン (区分1)
眼に対する重篤な損傷・刺激性	: テトラエチレンペンタミン (区分1)

呼吸器感作性または皮膚感作性 : テトラエチレンペンタミン (区分 1、皮膚)
生殖細胞変異原性 : 分類できない
発がん性 : 分類できない
生殖毒性 : 分類できない
特定標的臓器・全身毒性-単回暴露 : 分類できない
特定標的臓器・全身毒性-反復暴露 : 分類できない
吸引性呼吸器有毒性 : 分類できない

1 2. 環境影響情報

生態毒性 : テトラエチレンペンタミン (ErC₅₀ (72 h) 藻類 セレナストラム : 0.12 mg/l)
(NOEC (72 h) : 0.018 mg/l)
残留性・分解性 : テトラエチレンペンタミン 難分解性 : Closed Bottle Test <10%(28d)
生態蓄積性 : テトラエチレンペンタミン 生物蓄積性が低いと推定される : logKow=-3.16
土壌中の移動性 : 情報なし
水生環境有害性 (急性) : 区分 2
(慢性) : 区分 2
オゾン層への有害性 : 分類できない
・漏洩、廃棄などの際には、環境に影響を与える恐れがあるので、取扱いに注意する。
・特に、製品や洗浄水が、地面、川や排水溝に直接流れないように対処すること。

1 3. 廃棄上の注意

残余廃棄物 : 廃棄においては、関係法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。
廃塗料、容器等の廃棄物は、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約 (マニフェスト) をして処理をする。
容器、機器等を洗浄した排水等は、地面や排水溝へそのまま流さないこと。
排水処理、焼却等により発生した廃棄物についても、廃棄物の処理および清掃に関する法律および関係する法規にしたがって処理を行うか、委託をすること。
汚染容器および包装 : 空容器は内容物を完全に除去してから処分する。
許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理をする。

1 4. 輸送上の注意

共通

取り扱いおよび保管上の注意の項の記載に従うこと。
容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れ防止を確実にすること。

国内規定

陸上輸送 : 消防法、労働安全衛生法等に定められた運送方法に従うこと。
海上輸送 : 船舶安全法に定めるところに従うこと。
航空輸送 : 航空法に定めるところに従うこと。
国連番号 : 2735
品名 : ポリアミン類 (液体) (腐食性のもの)
国連分類 : 8
容器等級 : III
指針番号 : 153

国際規制

海上規制情報 : IMOの規定に従う。
航空規制情報 : ICAO/IATAの規定に従う。
UN No. : 2735
Proper shipping Name : POLYAMINES, LIQUID, CORROSIVE, N. O. S
Class : 8
Packing Group : III

1 5. 適用法令

消防法	: 第4類第四石油類 危険等級Ⅲ
労働安全衛生法	: 非該当
化学物質管理促進法	: 第一種指定化学物質（法第2条第7項、施工令第1条別表第1） 3,6,9-トリアザウンデカン-1,11-ジアミン（別名テトラエチレンペンタミン） （政令番号第276号）
毒物及び劇物取締法	: 非該当
化審法	: 第3監視化学物質（法第2条第6項） 3,6,9-トリアザウンデカン-1,11-ジアミン（別名テトラエチレンペンタミン） （通し番号第166号）
船舶安全法	: 腐食性物質（危規則第2、3条危険物告示別表第1）
航空法	: 腐食性物質（施行規則第194条危険物告示別表第1）
厚生労働省労働基準局長通達	: ポリアミドアミン（基発第477号の2） （エポキシ樹脂硬化剤の主成分表示）

1 6. その他の情報

参考文献

- 1) GHS対応SDS・ラベル作成ガイドブック〔混合物（塗料用）〕（日本塗料工業会）
- 2) SDS用物質データベース（日本塗料工業会）
- 3) 国際化学物質安全カード（ICSC）
- 4) 既存化学物質安全性点検データ
- 5) 原料SDS

注意

本データシートは、作成または改訂時において、製品およびその組成に関する最新の情報（危険有害性情報・取扱い情報等）を集めて作成しておりますが、全ての情報を網羅したものではなく、新たな情報を入手した場合には追加・修正を行い改訂いたします。

また、本データシートに記載のデータは、その製品を代表する値であり、保証値ではありません。

本製品を当社が認めた材料以外のものとの混合、当社が認めた仕様以外の特殊な条件で使用する場合には、使用者において安全性の確認を行ってください。